

全国昆虫施設連絡協議会と環境省 の連携等



ツシマウラボシシジミ

昆虫類の主な保全事業

- 平成24年～ 「昆虫館と環境省の連携による生息域外保全に関する意見交換会」
- 平成25年 環境省生息域外保全モデル事業成果集作成・公表（昆虫では、大阪府立大学、橿原市昆虫館等によるシルビアシジミ）
- 平成26年～28年 環境省生息域外保全モデル事業（ツシマウラボシシジミ、ヤシャゲンゴロウ、オキナワマルバネクワガタ、アマミマルバネクワガタ、ウケジママルバネクワガタ、ヤエヤママルバネクワガタ、ヨナグニマルバネクワガタ）
- 平成27年～28年 フチトリゲンゴロウの生息状況調査、系統保存の実施

昆虫類の主な保全事業

- 平成27年～ アカハネバツタ、マダラシマゲンゴロウ、マルコガタノゲンゴロウの生息状況・生息環境調査等の実施
- 平成28年 ウスイロヒョウモンモドキ情報共有会議の開催環境改善事業(草刈り、灌木除去)の実施
- 平成28年～ ツシマウラボシシジミ保全検討連絡会議の開催。対馬における野生復帰を目指した試験的な放ちょうの実施
- 平成30年～ 絶滅危惧昆虫類の生息域外保全モデル事業(フサヒゲルリカミキリ、ウスイロヒョウモンモドキ、フチトリゲンゴロウ)

①全国昆虫施設連絡協議会と環境省の連携による 生息域外保全に関する意見交換会

- 平成24年～毎年1回、生息域外保全の促進、意見交換を目的
- 話題：各飼育園館の域外保全の取組、環境省の生息域外モデル事業、法制度、生息域外保全協力園館の拡大など

※平成31年2月開催の意見交換会議出席者

■全国昆虫施設連絡協議会

顧問

会長

■大阪府立大学

■多摩動物公園

■足立区生物園

■としまえんのもり昆虫館

■北杜市オオムラサキセンター

■箕面昆虫館

■橿原市昆虫館

■広島市森林公園こんちゅう館

■長崎バイオパーク

■東海大学

■環境省 自然環境局

野生生物課

希少種保全推進室長ほか

国立公園課

生態系事業係長

■関東地方環境事務所

野生生物課

専門官

②昆虫館等との連携の例

■ツシマウラボシシジミの保全

• 令和元年度の業務内容:

✓ 保全検討連絡会議の開催

✓ 環境改善(間伐、落葉落枝除去等)

✓ 生息地モニタリング

✓ 飼育繁殖(足立区生物園、長崎バイオパーク、箕面昆虫館等)

✓ 放チョウ(飼育下繁殖個体による補強)

✓ 保全マニュアルの作成

• その他連携主体:

対馬市(シカ柵の設置、普及啓発)、対馬高校・東部中学校(教育、普及啓発)、東京大学(飼育下繁殖技術開発、野外調査)、大阪府立大学(生態調査、飼料開発)、日本チョウ類保全協会(飼育技術開発、野生復帰)など



足立区生物園での飼育下繁殖

②昆虫館等との連携の例

■生息域外保全モデル事業

令和元年度の業務内容：

- ✓フサヒゲルリカミキリ(足立区生物園、伊丹市昆虫館)、ウスイロヒョウモンモドキ(箕面昆虫館)、フチトリゲンゴロウ(伊丹市昆虫館)の飼育繁殖技術の確立へ向けた課題の抽出及び対応方策の検討など

